逍遙文庫
文庫6
1001

蘭

夏結

種清他

芳幾画

蝶

鶯

追

上

彩堂梓

淺艸巷里に不思議界あり

男を以て婦とす老漢とす少年とす雨は車の

鳴にまかせて降雪は三角にまつて霏々波風雷電撑より起

花は意の隨に於発月は報柝を聆て出る噫怪しき理

這術は仙にあらず佛にあらず鬼神天狗の所為にあらず

妙絶の化の河竹がそが品譚に付脉して把る筆の命毛より

舊出せる一世界にとき

丙辰年正月發販

柳水亭種清

阿古金源之亟

乙貫魁喜禄

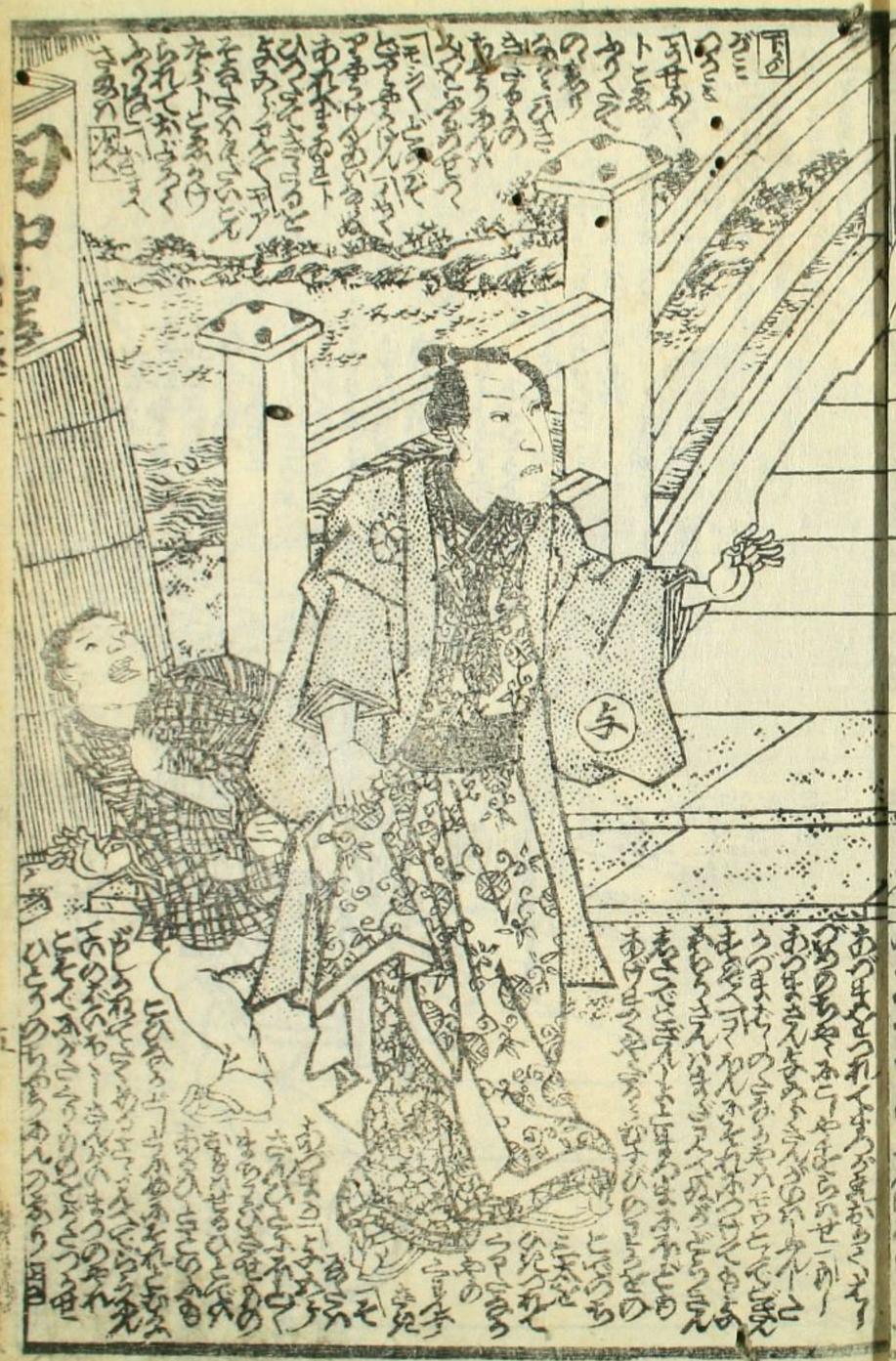
喜禄娘於古世

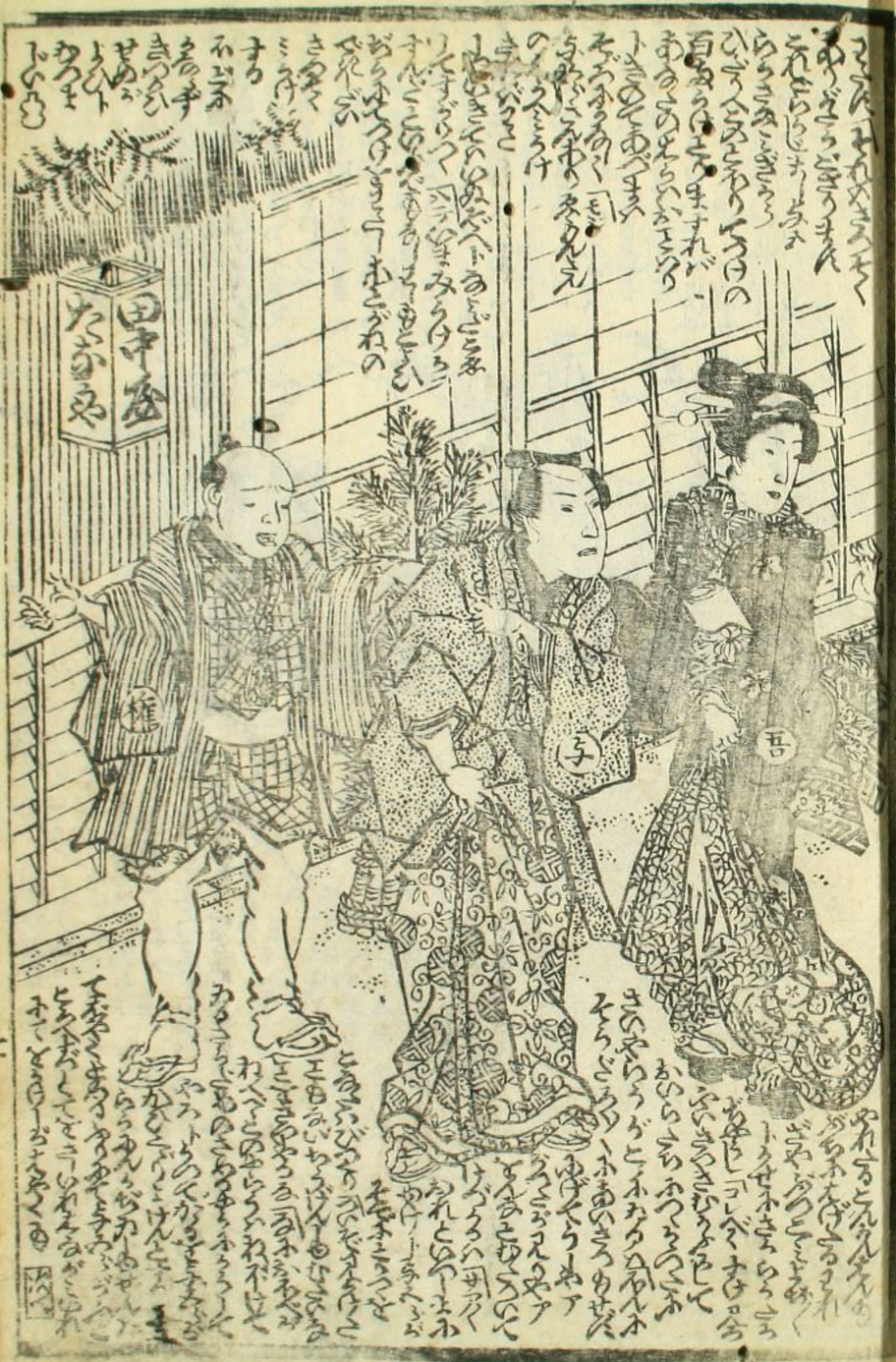
熊坂於張が
奸計媱色を
醞して山崎屋
淨閑を溺醉せ
しむ

泥鰌塚半次

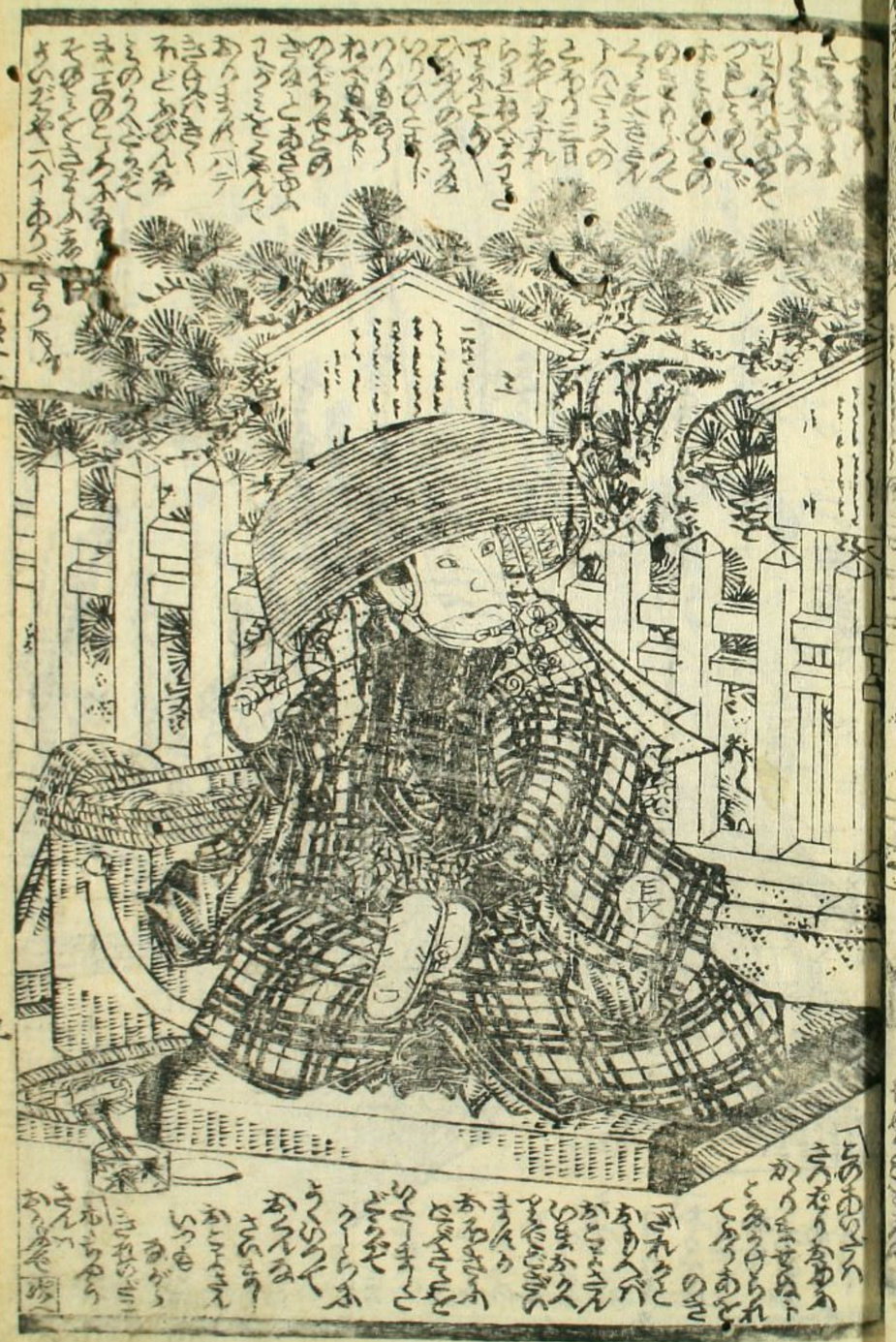
梶井主膳

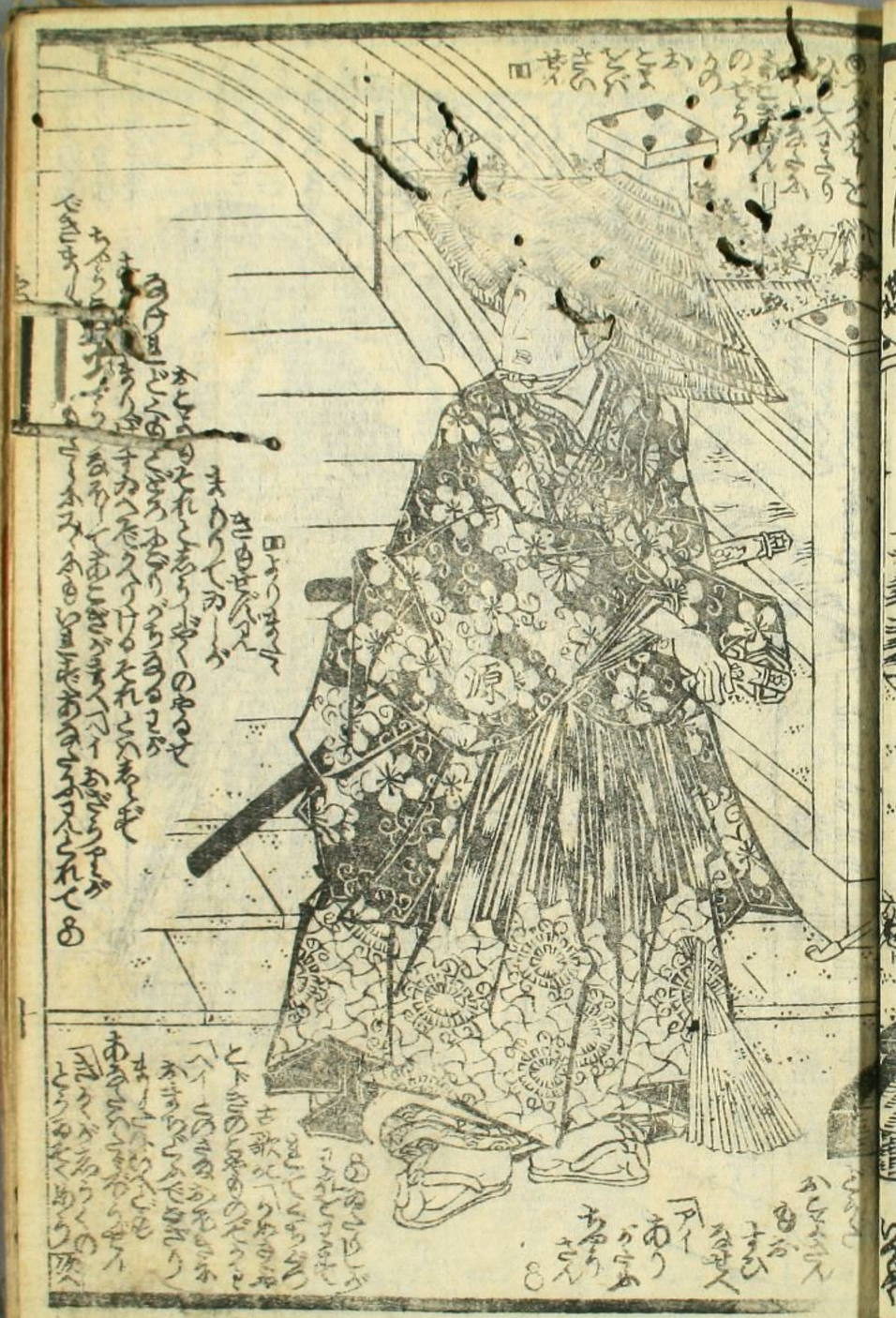
聖踏歩長五郎




日本屋
椎
子
吾

有




源

長

松村雨須磨努勵琴

作者 柳水亭種清

画工 歌川國貞

[illegible]

真田結戀智惠環

作者 同

画工 一勇齋國芳

[illegible]

錦榮堂

吳服町新道

槌屋茂吉板

錦樂堂壽梓

辰春新板

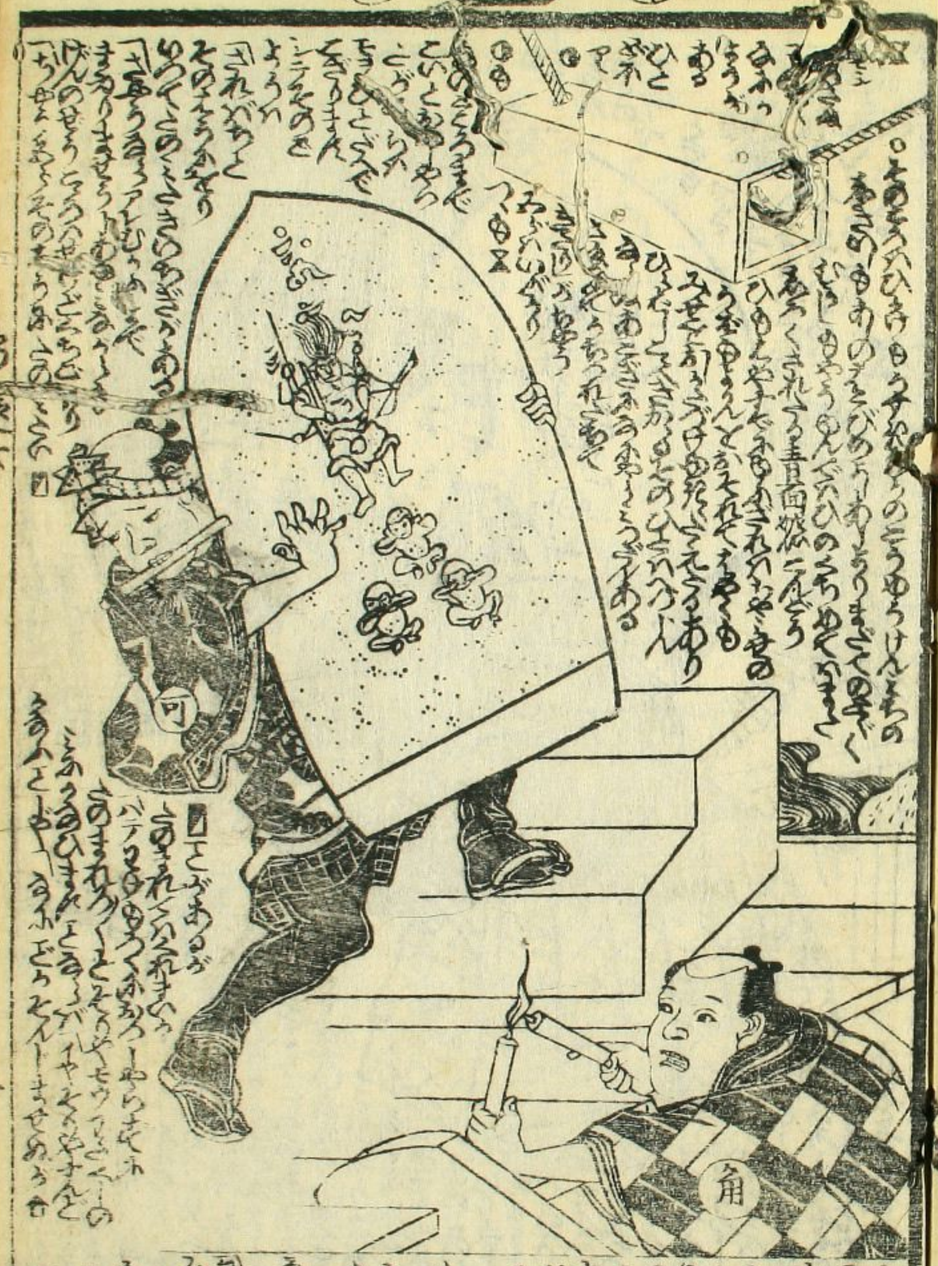
夢結蝶鳥追

芳歳禹

種清作

下

錦榮堂梓

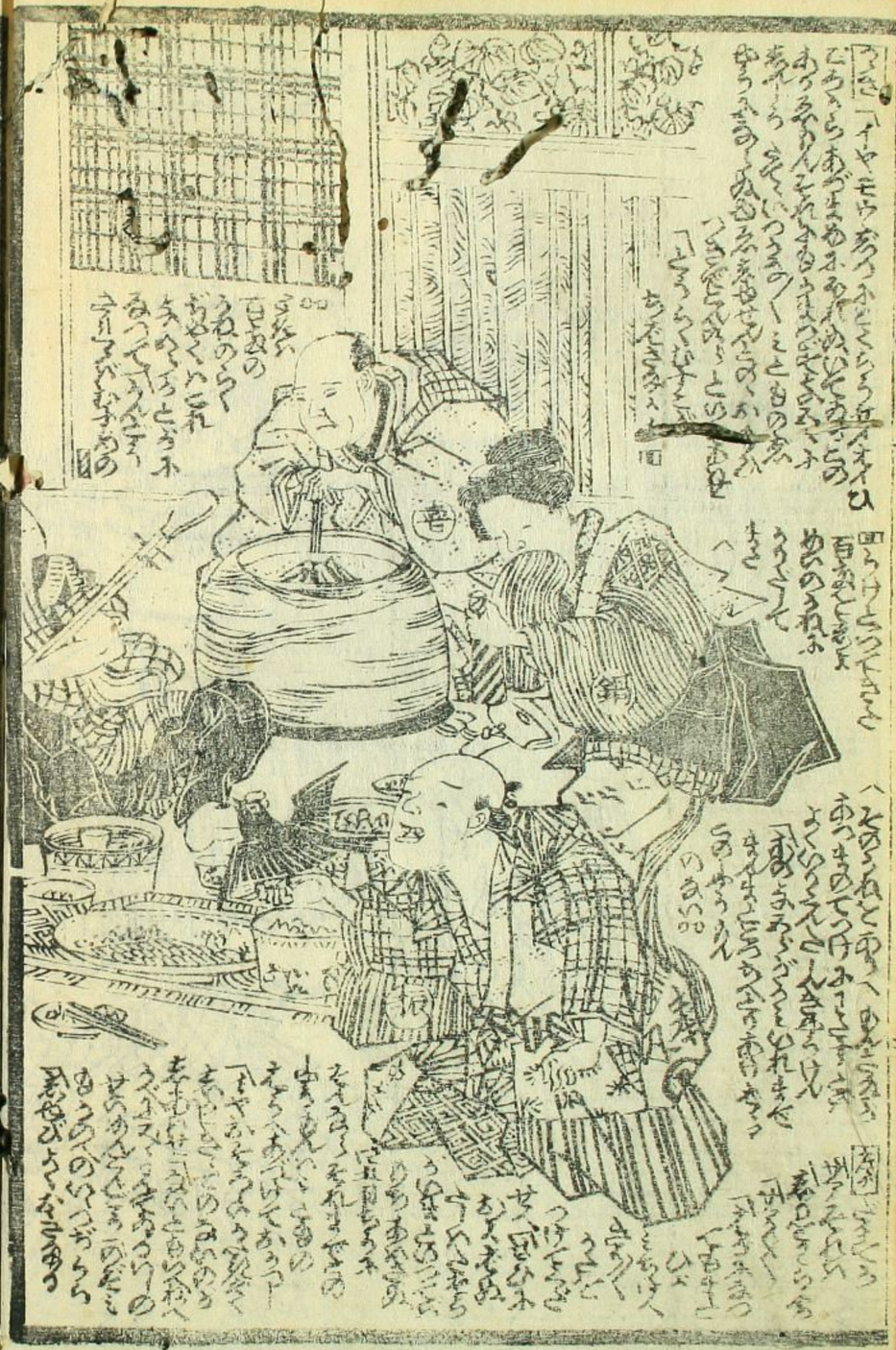


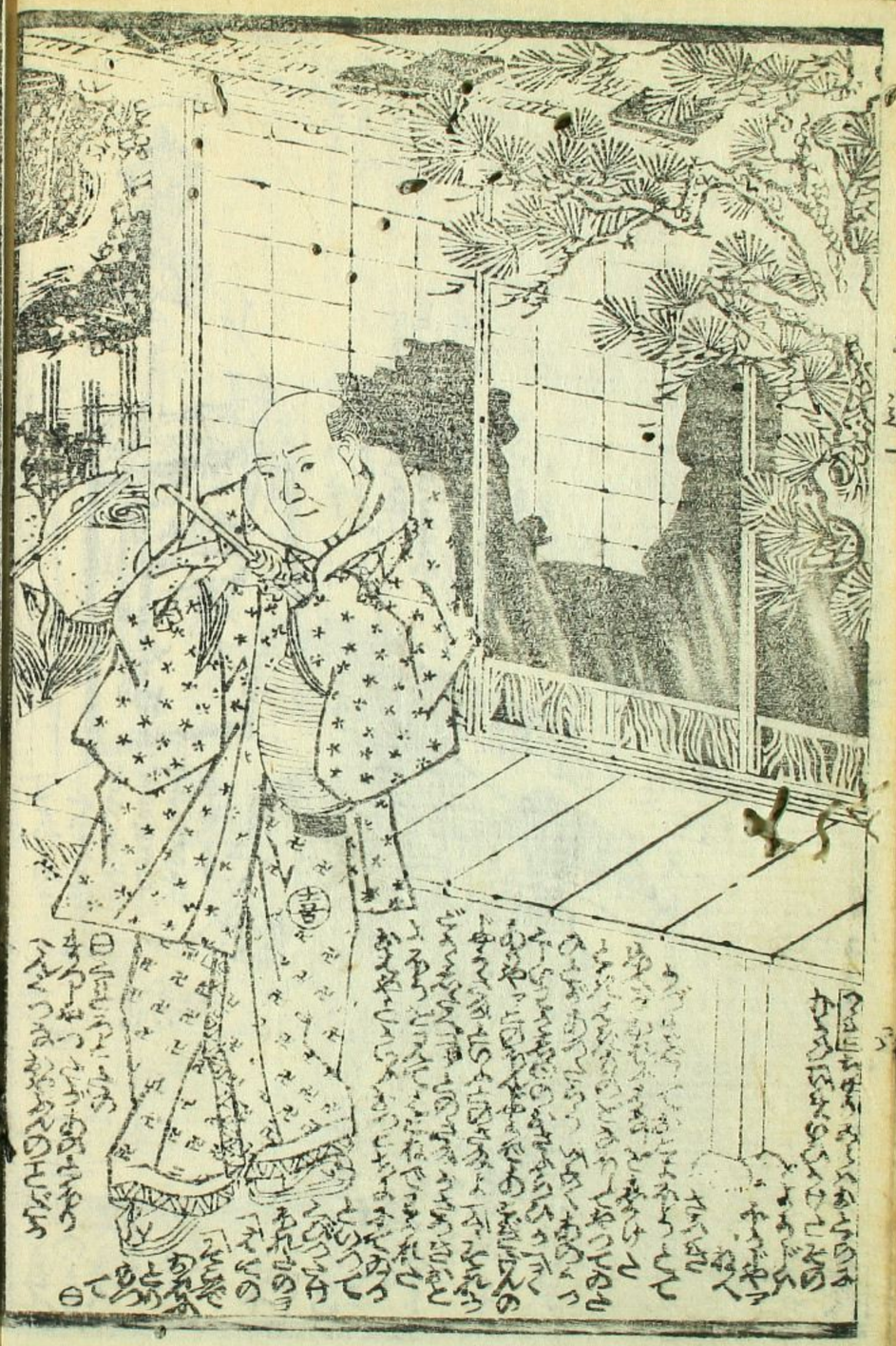
源

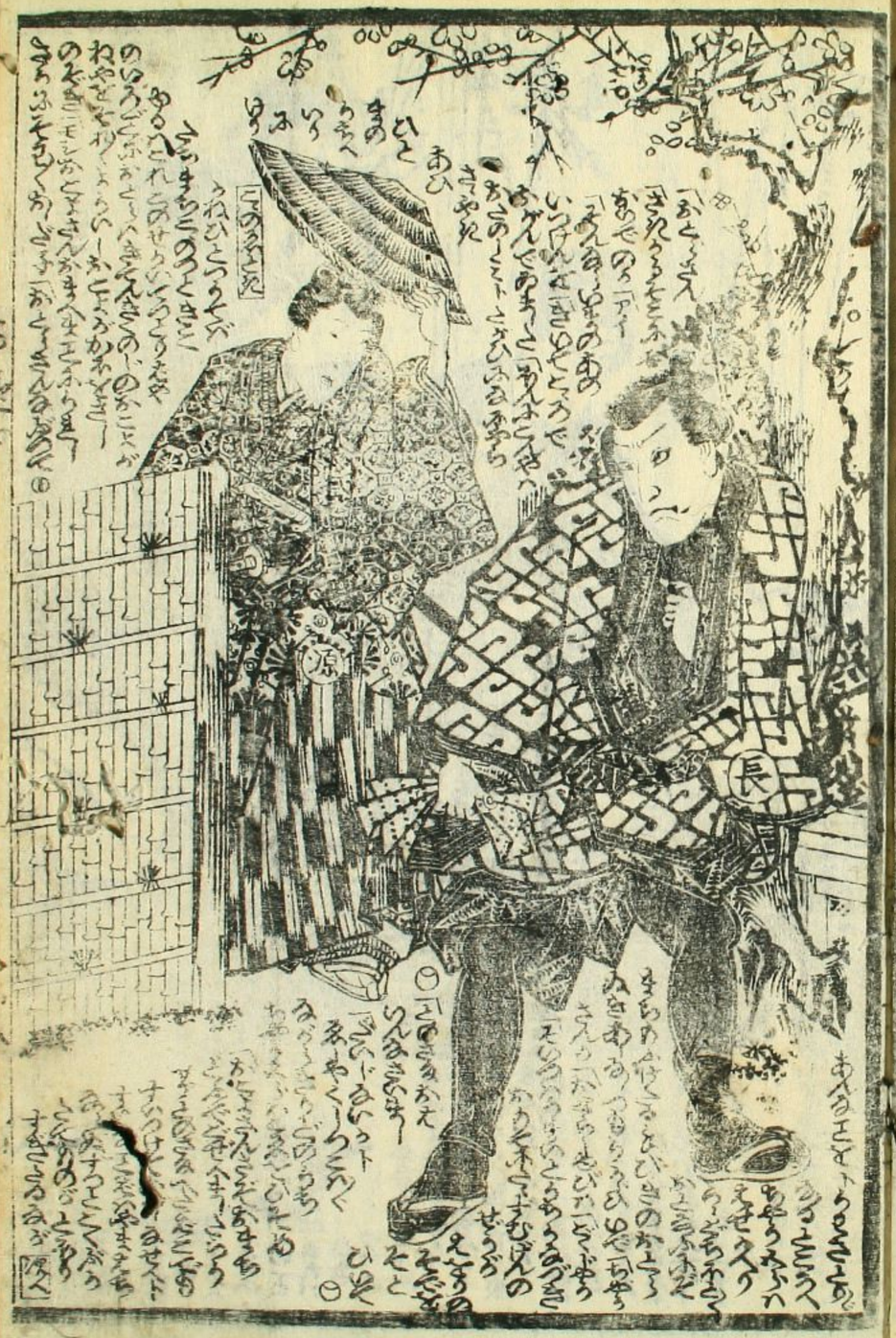
長

有

羽
作
虎

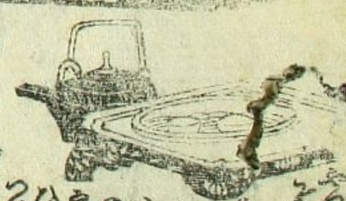

亥

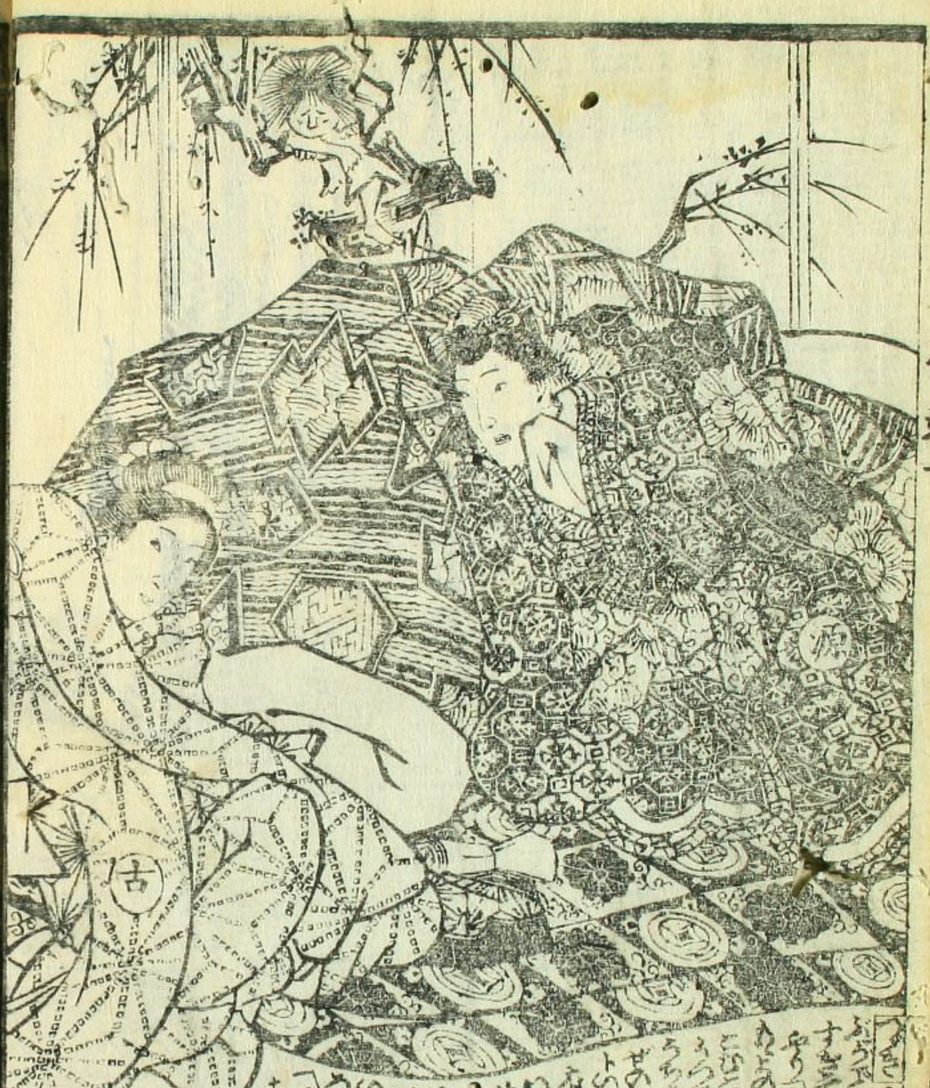



虎
長
原

虎

源
古





種清作 芳幾画

成田霊驗瓢流言

作者 柳水亭種清
画工 一惠齋芳幾

這稗史は衆士が商せて明王の加被力によりて一個の劇子を立運して流行に名を重ねて普話を年々に流行する所聆を以て[illegible]粧展の[illegible]哀[illegible]よく知り自も亦よく知る[illegible]剛らで技把する旅遊の技[illegible]に[illegible]多せりを最おかしげに綴られ[illegible]挽梓を繼て[illegible]せと板元に代て 作者敬[illegible]

花吹雪妹背振袖

作者 同
画工 一陽齋豊國

此走史は其[illegible]年出雲が役けし娘庭訓時代の忽長京師にして[illegible]年が藤奥[illegible]せしと記るひきもきらさりしとその[illegible]云[illegible]時代も[illegible]と世[illegible]に[illegible]を[illegible]して[illegible]遊の[illegible]云に[illegible]へんと五臓六腑を[illegible]尽して編初[illegible]と[illegible]貧黒に[illegible]目[illegible]

錦榮堂
呉服町[illegible]新道
槌屋茂吉板

大坂 湖栄堂
繁華製造 二編
とん羽織
檀清編
芳幾画

當れ
ゑん板
ロめもすぶ
二編
人の巻

梓壽堂泉鏡發

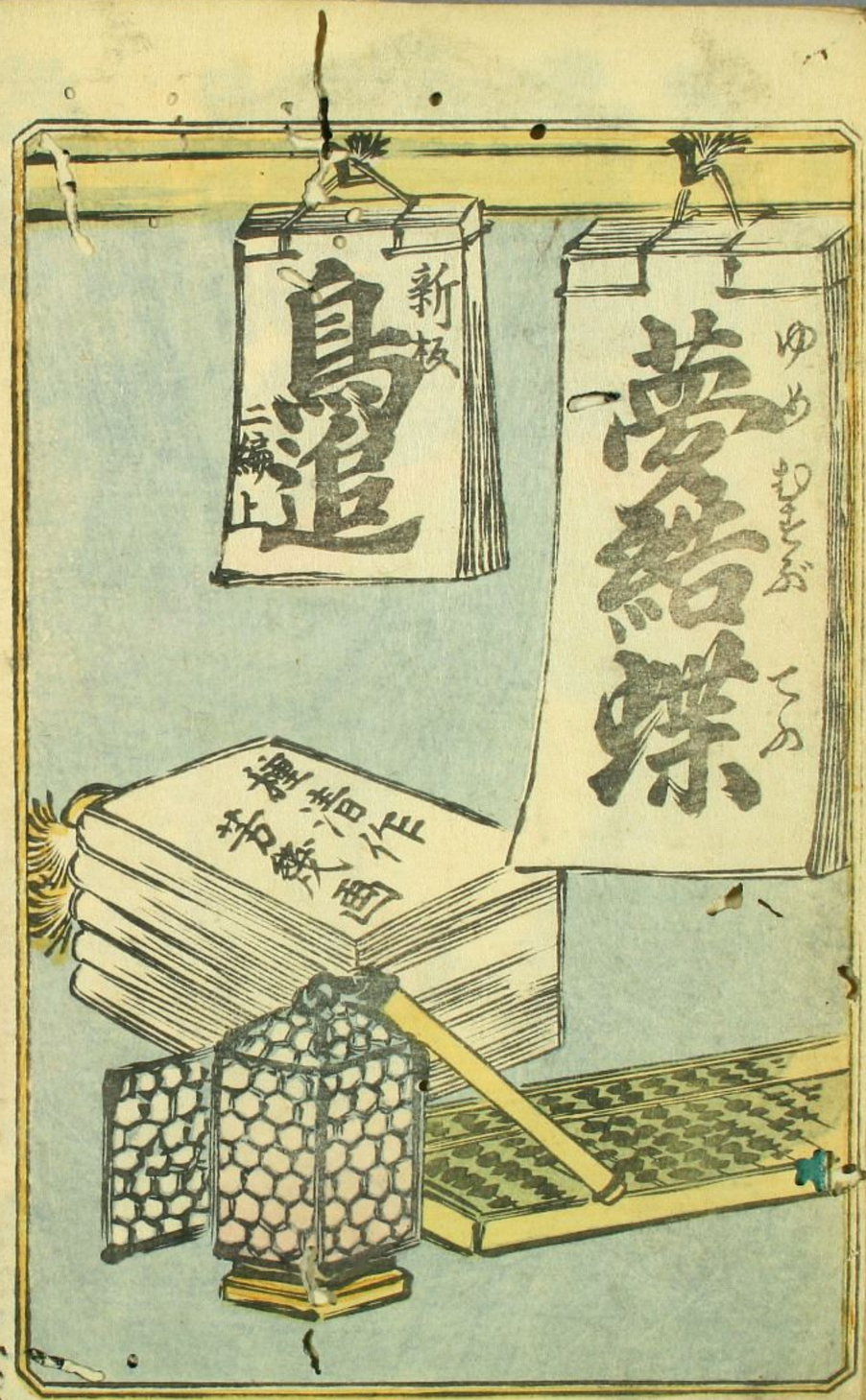
夢結蝶

新板 鳥追 二編上

種清作 苦幾画

邦畿千里ハ惟民の止るところ悪事千里ハ禁ても止らぜ彼此の聖語と俗語をあて一箇の世界を開闢ずるるハ時代を曾我の副祇廉島の神の御世話から淹しぶりあて善人悪人對面の場の筥根から化の紅粉縫ふ雪踏直張長の五郎ハ正士からで歃の紋の吾妻やものかう其ハ少將や虎の役草戯ハ調ニ曾我譚朝比奈めしく鎌髭の筆を振ふて斯こそ言えり

柳水亭種清

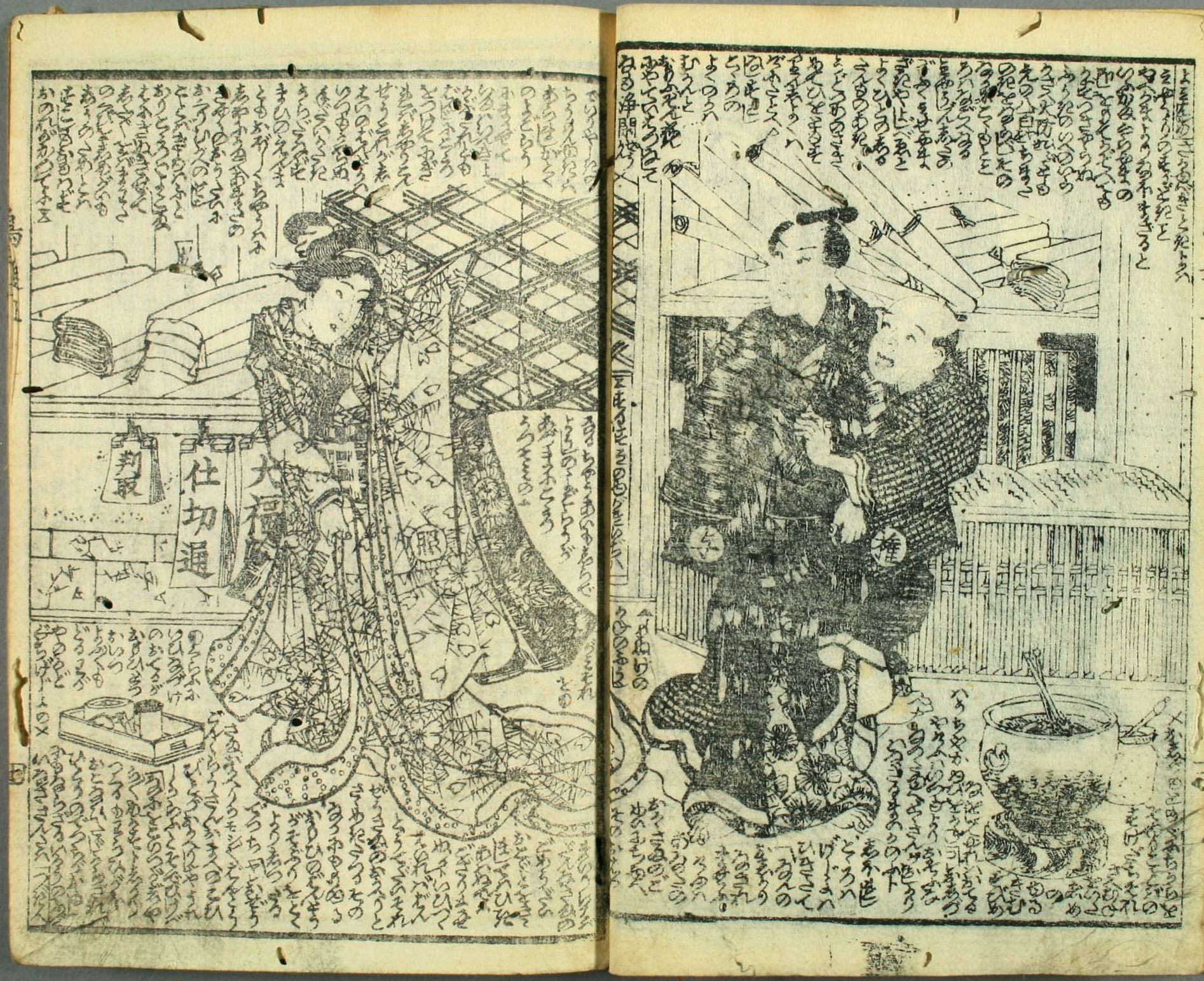


女馬士牛孺阿義

姑性
盗賊
熊坂
於張

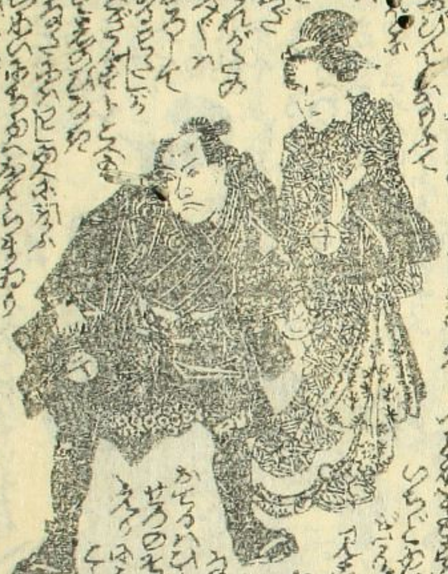
阿古木源之丞
菊鞋繕子長五

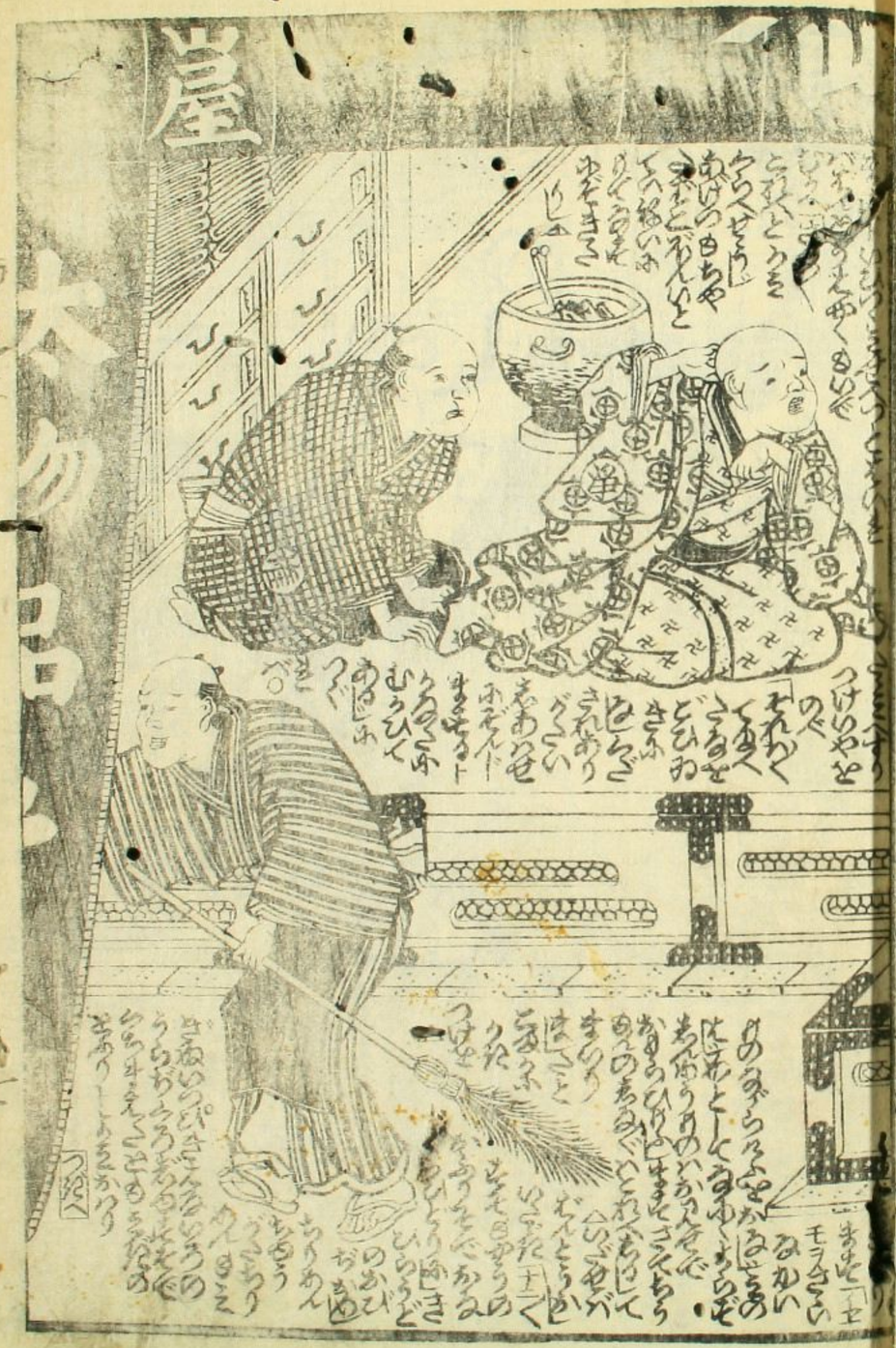
於古世
梶井主膳
花が散ふ
百日紅
柳水

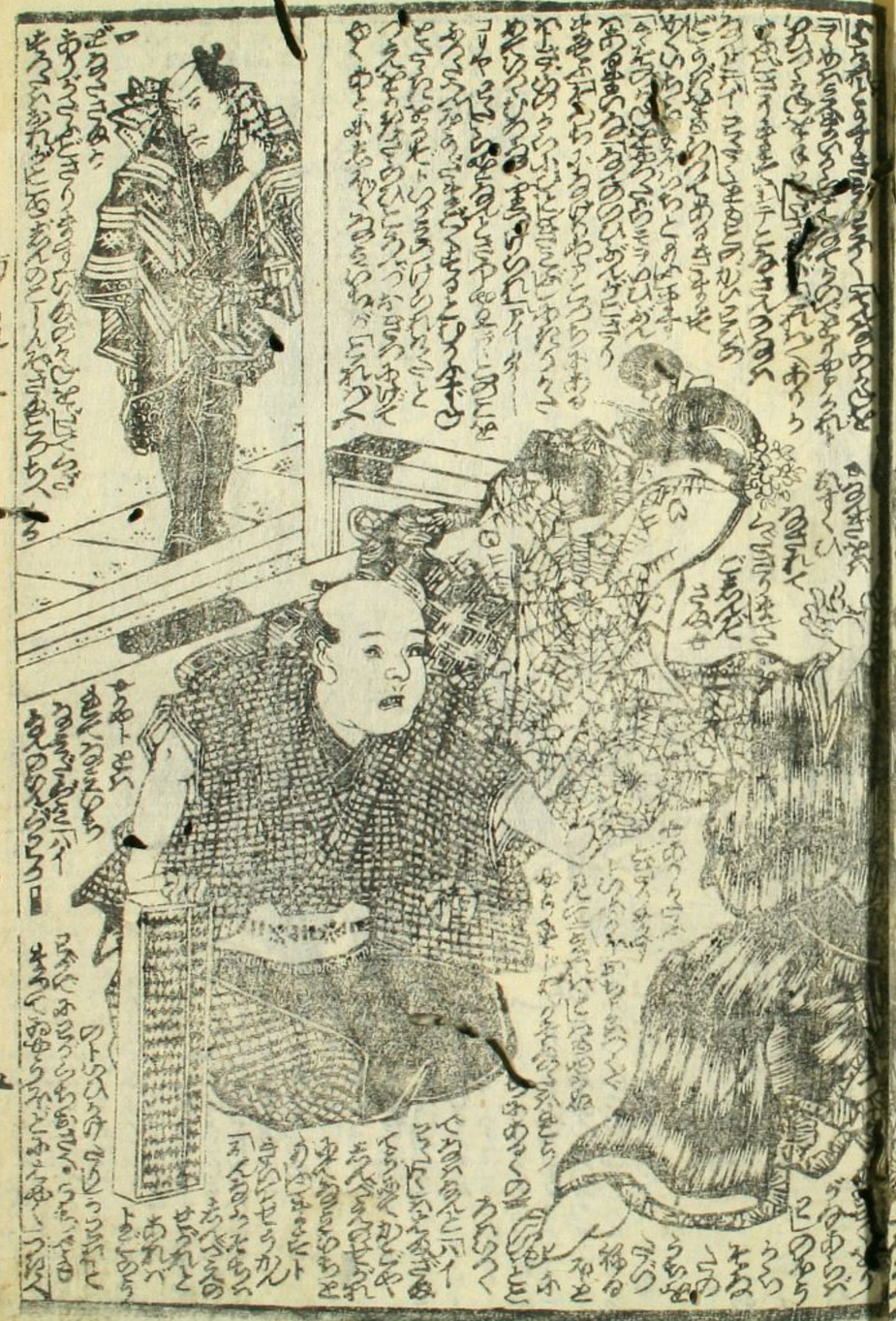


仕切通
大福

三の巻へ







須磨努勵琴

作者 柳水亭種清

画工 歌川國貞

真田結戀智恵環

作者 同

画工 一勇齋國芳

錦榮堂

呉服町 新道 槌屋茂吉板

二編

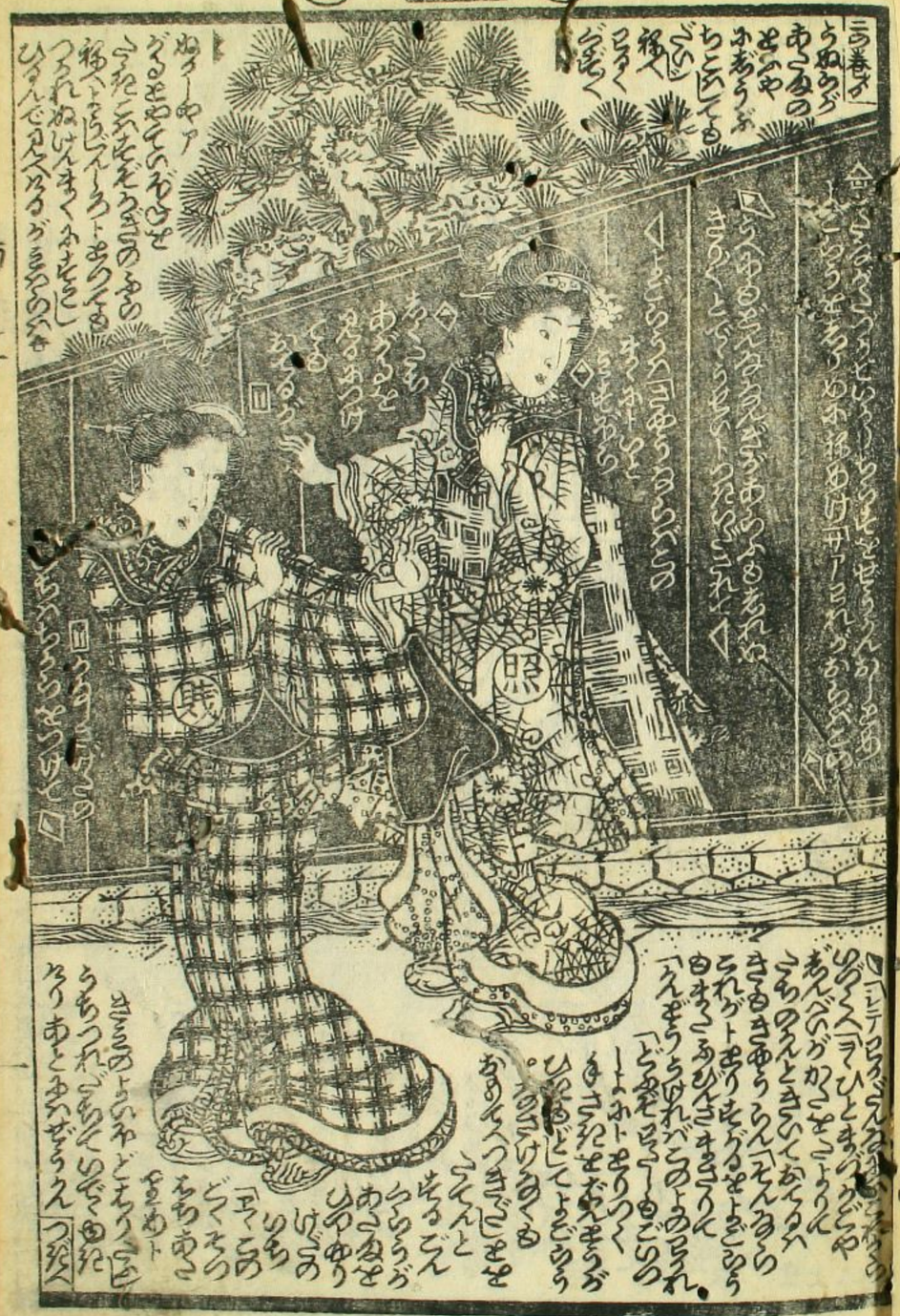
下の巻

雪月花

狸通俗

茅屋時雨

錦繍堂蔵梓

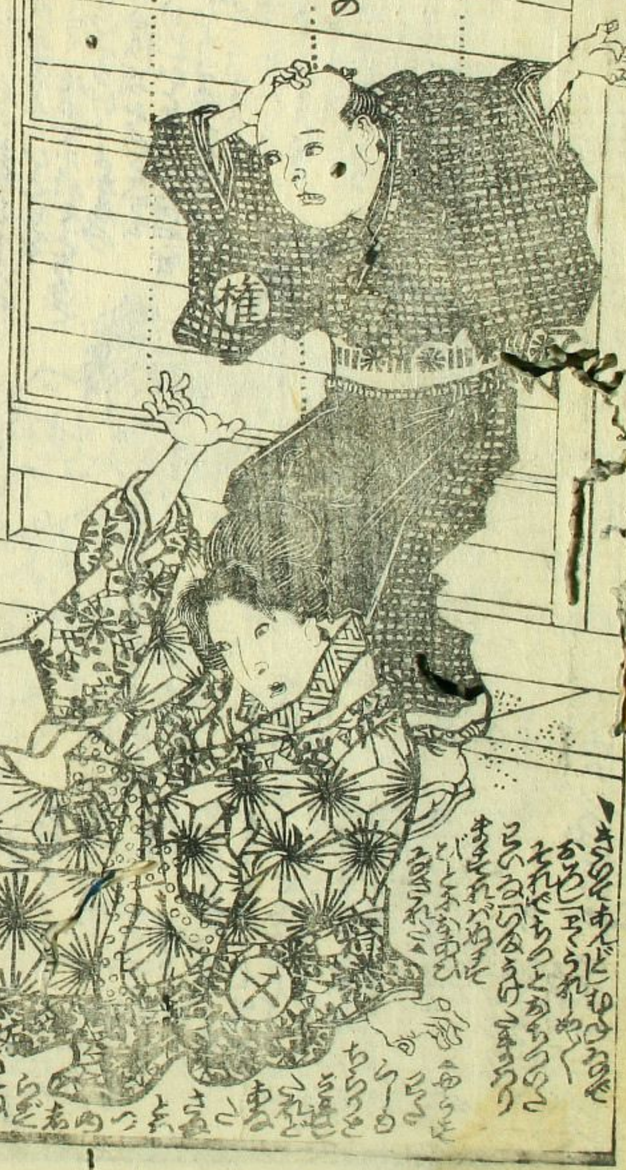


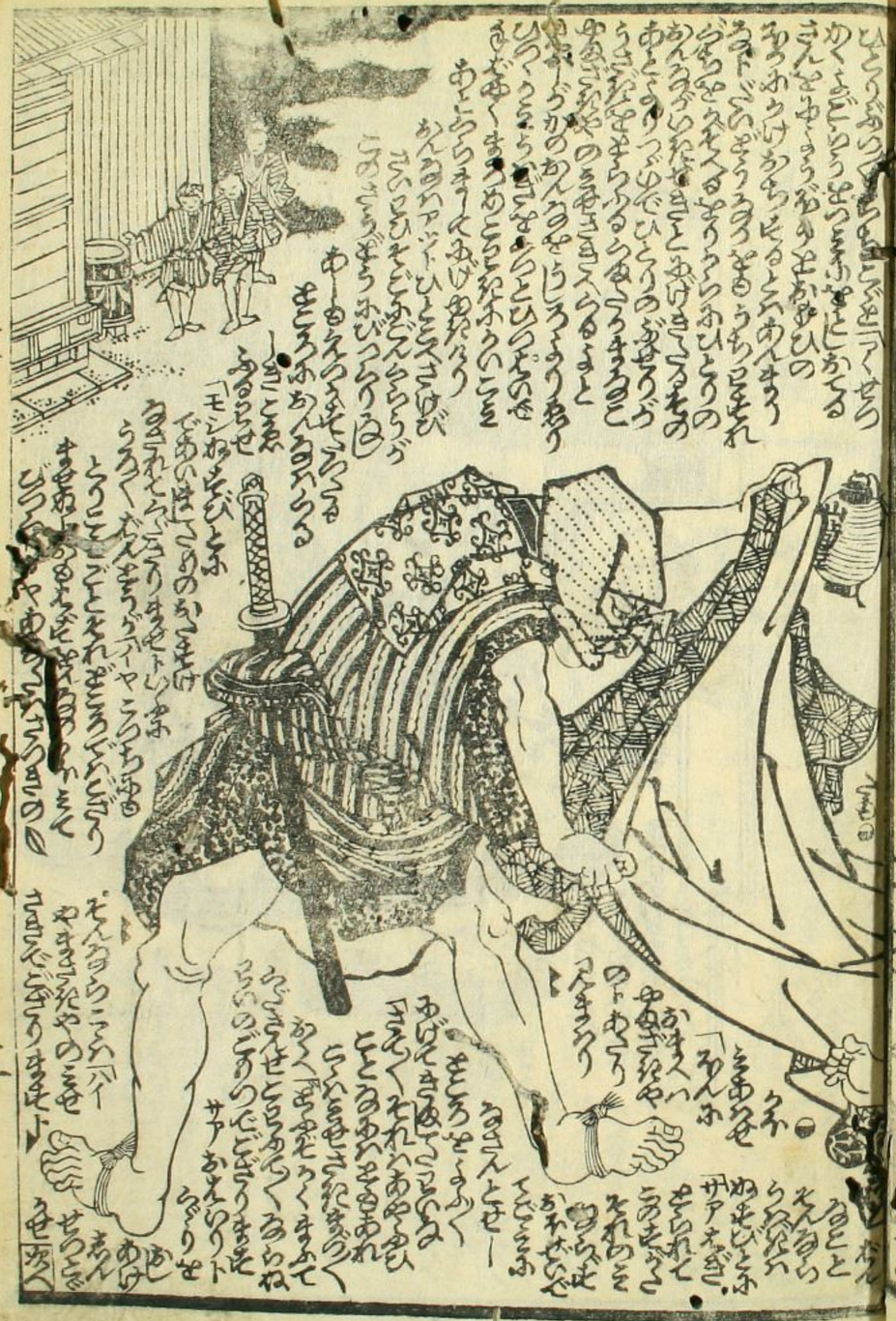
由先生の婦てふ

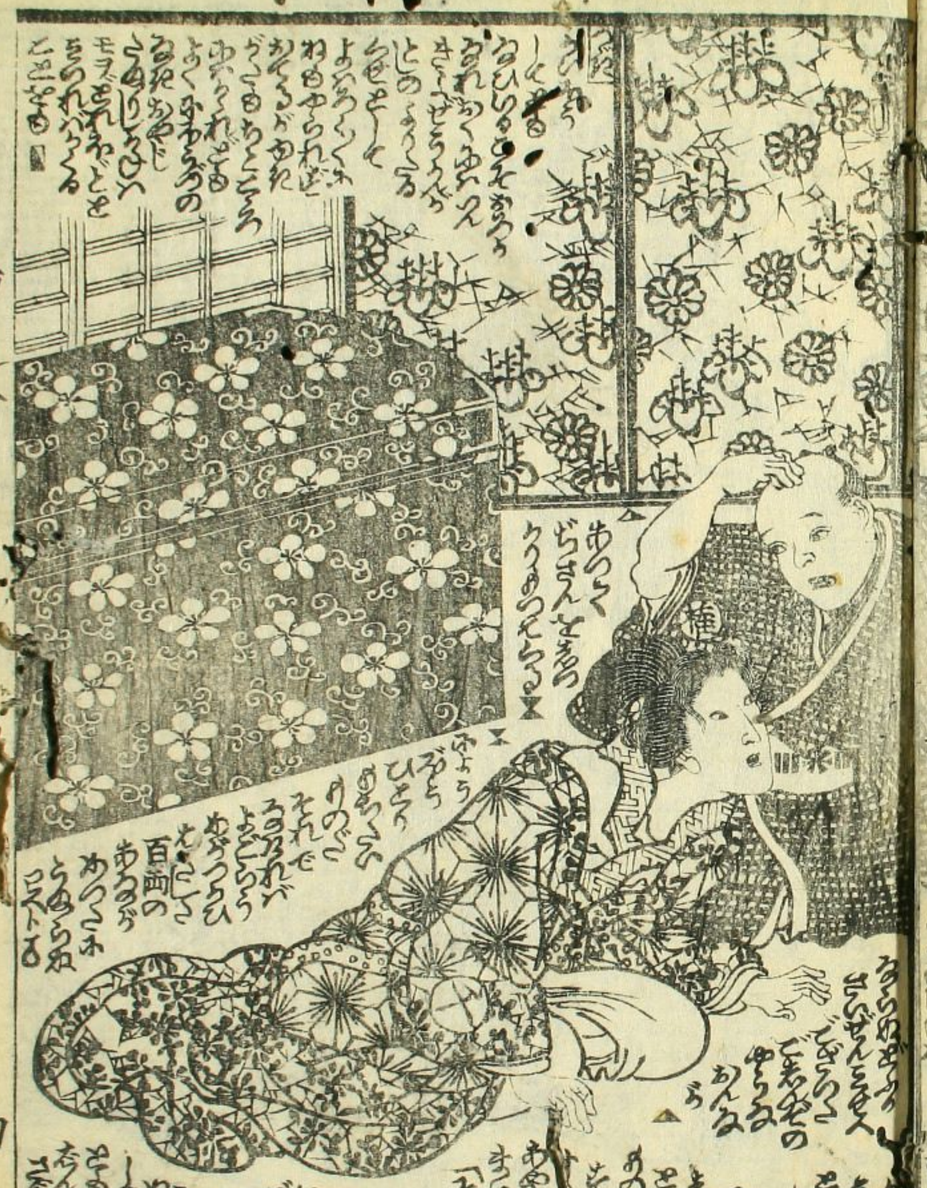
二編 下之巻

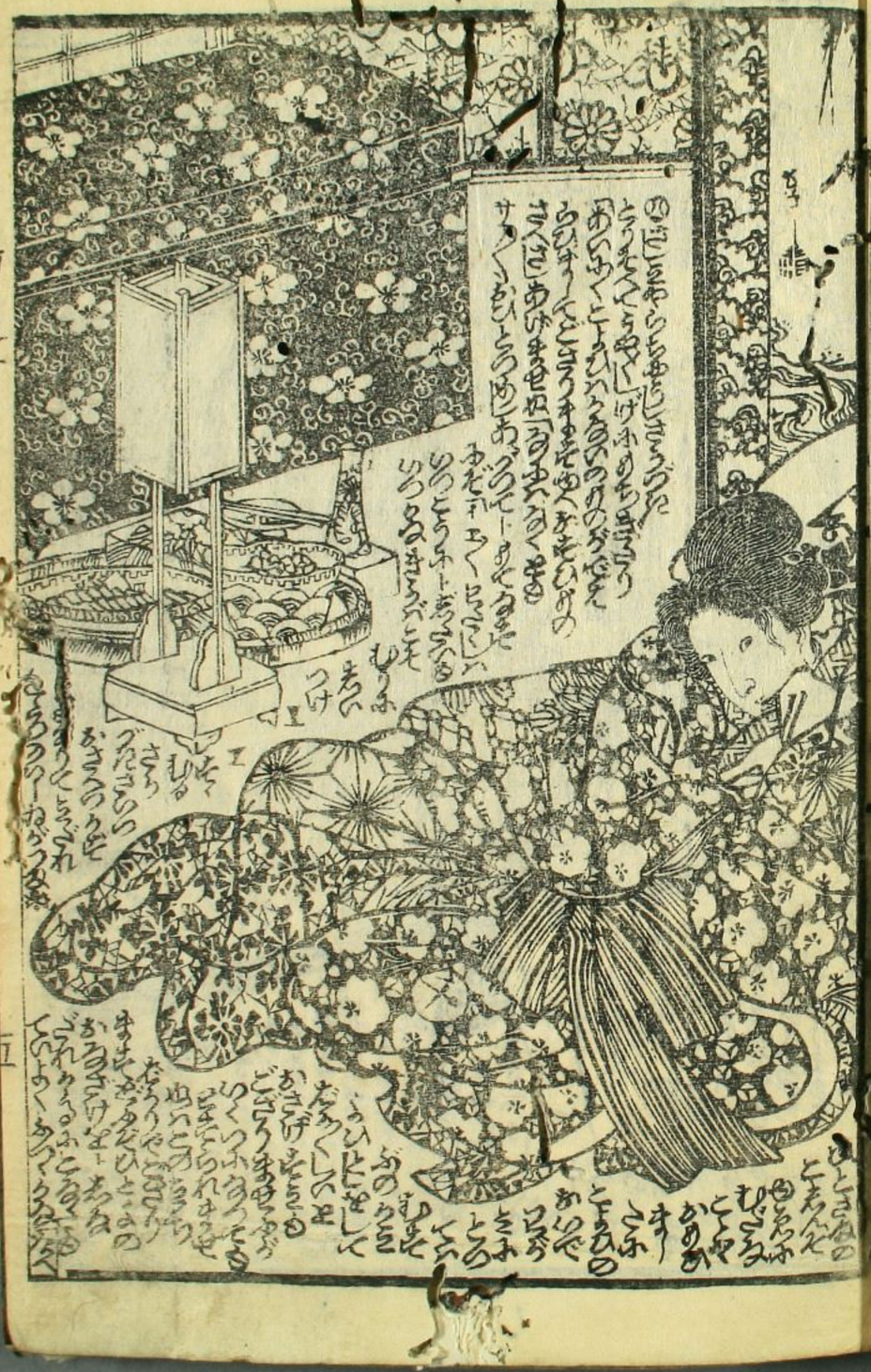
柳水亭種
清譯
一惠齋芳
幾画
槌茂版

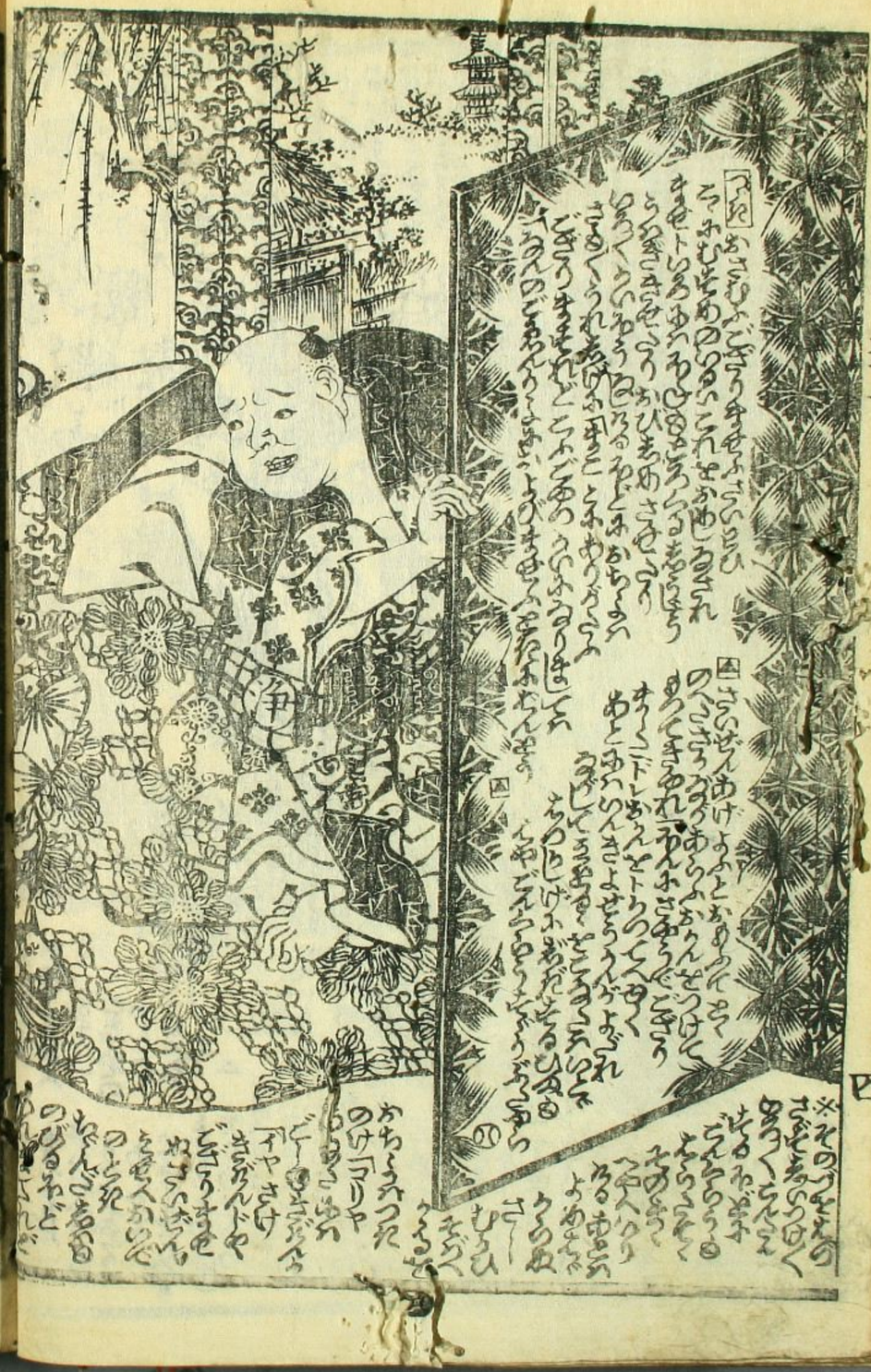
△百両
あるときに

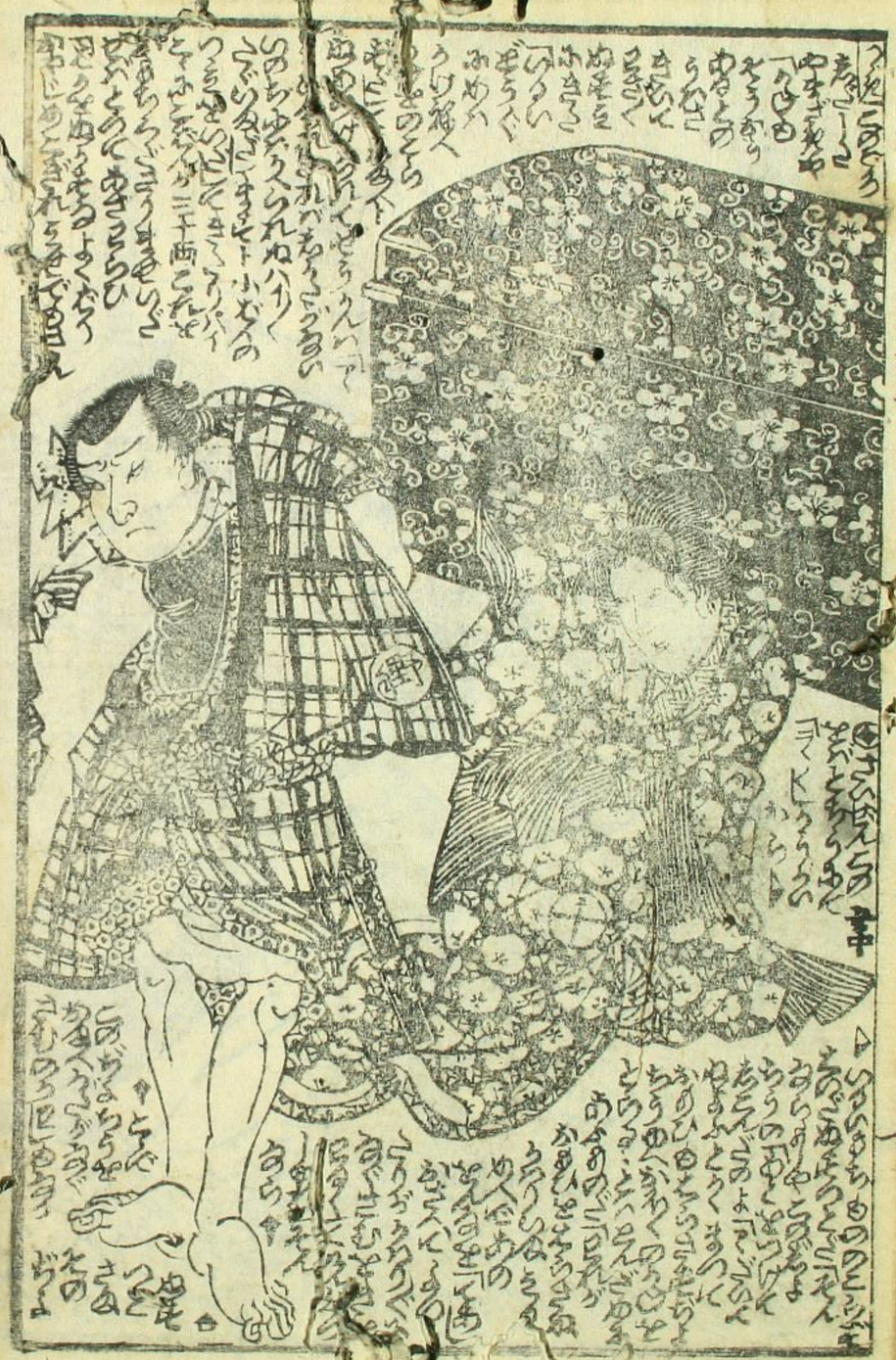

椎

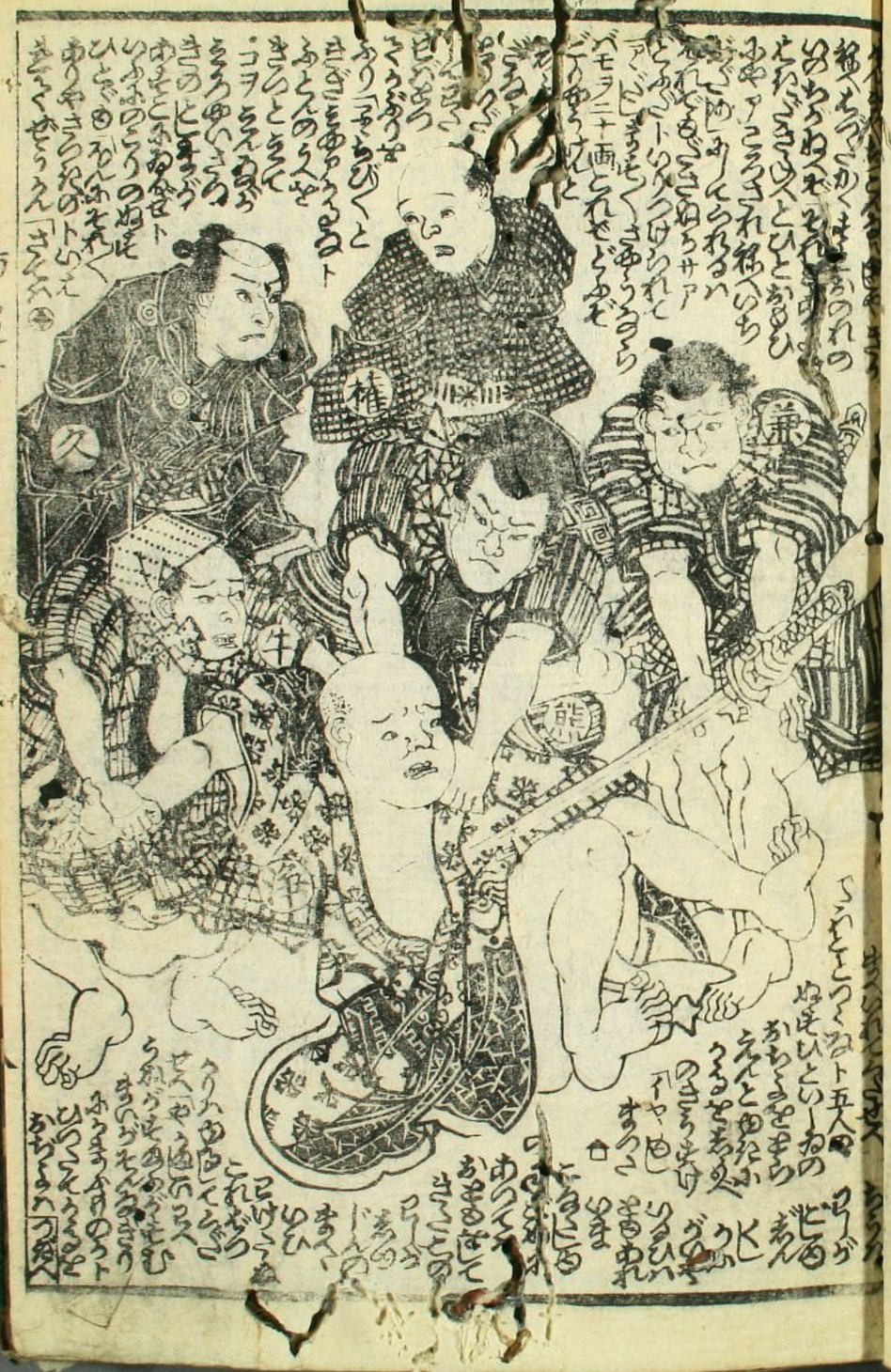






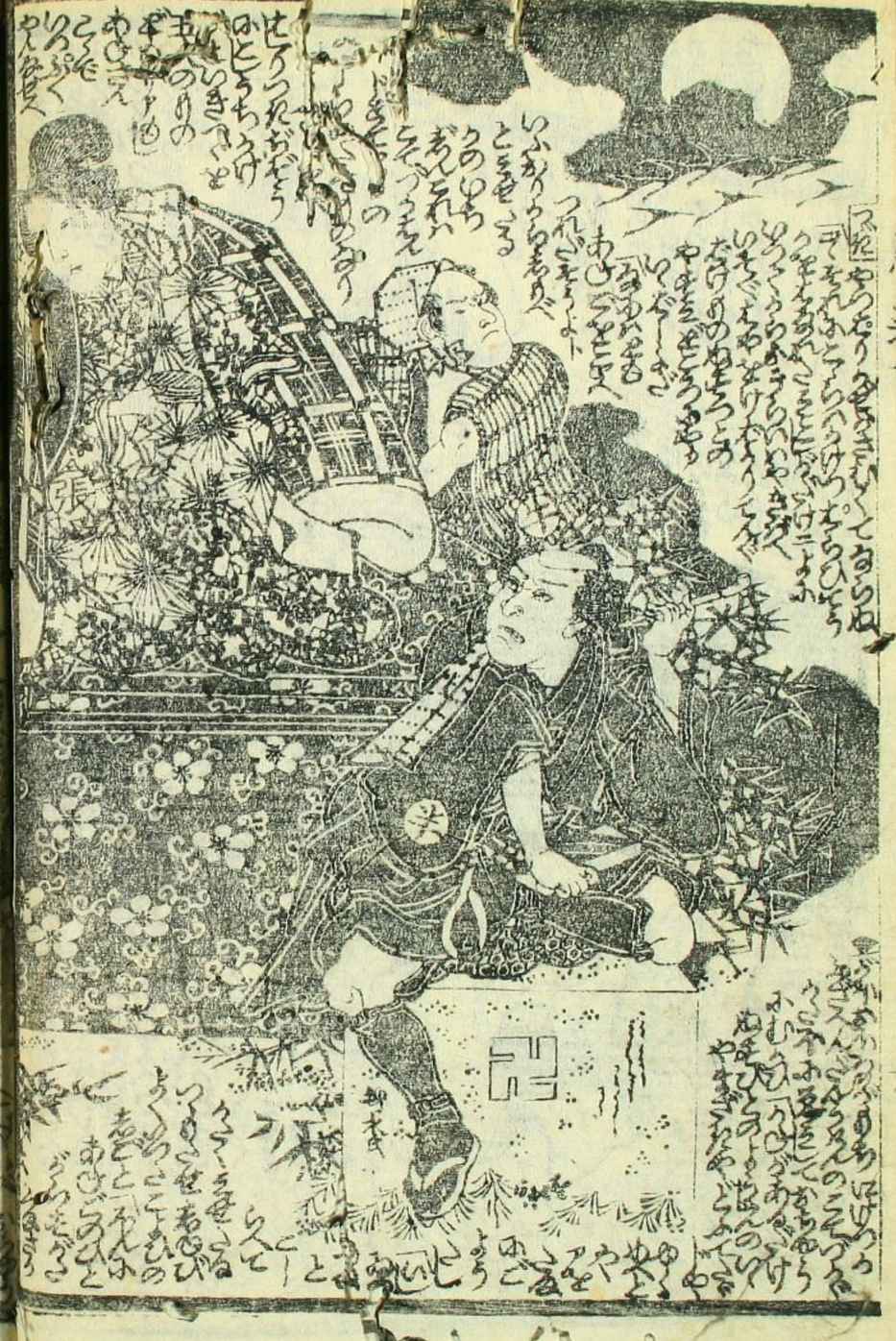






牛

龍
野



雅清譯 芳策画
愛結蝶鳥追 二編

成田霊験瓢流言

作者 柳水亭種清
画工 一恵齋芳幾

這稗史は衆士が商せ明日の加被力によりて一個の劇子立運して沈内に名を裏るを昔話を年々に流云々 [illegible]

花吹雪妹背振袖

作者 同
画工 一陽齋豊國

此走史は其頃年出雲が投げる娘庭訓時代の忽長系師にして之年が藻奥沙せしと親子ひきもきらさりしとその為に[illegible]時代もやうと世話に[illegible]筆して[illegible]遊の[illegible]を[illegible]五臓六腑を絞りて尽して編初さると嬉[illegible]貧の[illegible]に[illegible]目をけらまとよ

錦榮堂
呉服町なる新道
槌屋茂吉板

升題

夢結蝶鳥追

種清作
芳義畫

三篇上

錦葉堂梓

這史の原なる乾坤房良斎が筆説あるる品譚に[illegible]
なる緯のありなり江刕観音寺の城外に小二郎と号[illegible]
家富て一女を産しが相好美なりしまゝを驕まして嫁を止氏
に引く老蘇の里に窶人馬場求女てふ学士ありしが
遂に小七郎の婿となるとぞ是天文の頃なりし豊公
まゝ栗田口の乞丐善甫と茶燕を好を隣て醜を
憎むに仁にあらず富と取て貧と捨るに義にあらず仁
義を取て此に贖ひ可なる事也

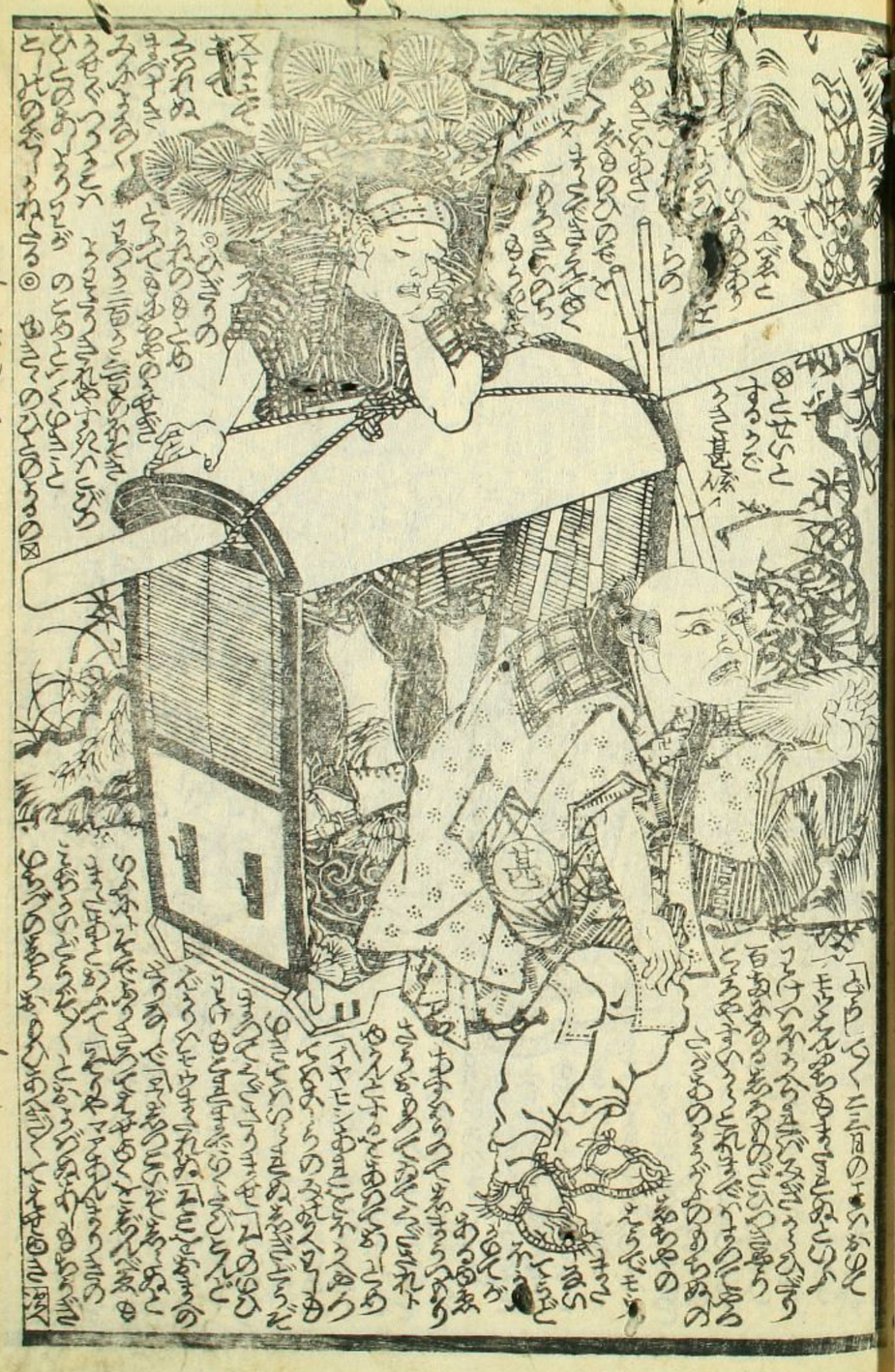
栃水亭種清

野出三吉

華輪調長五郎

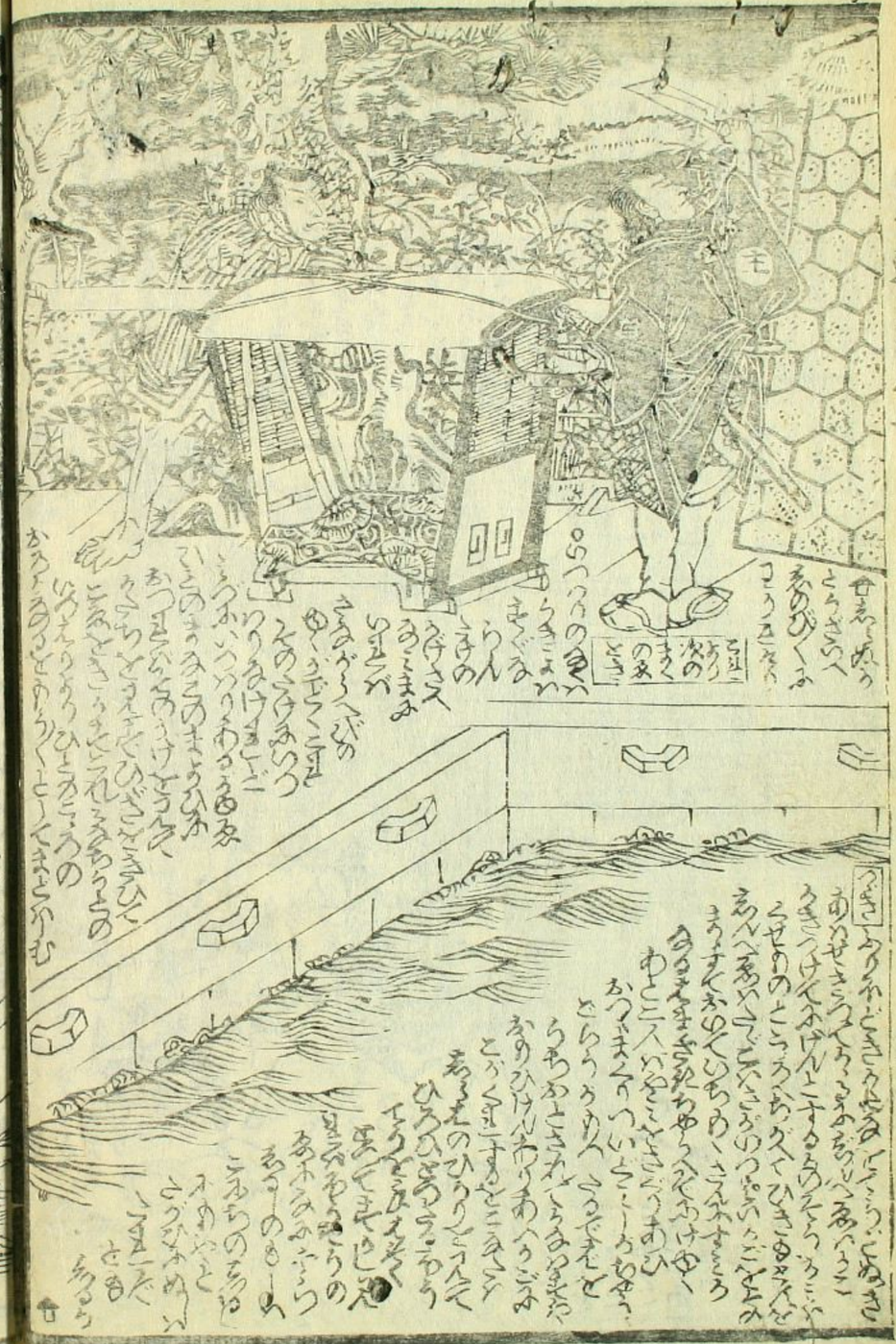
熊坂於長

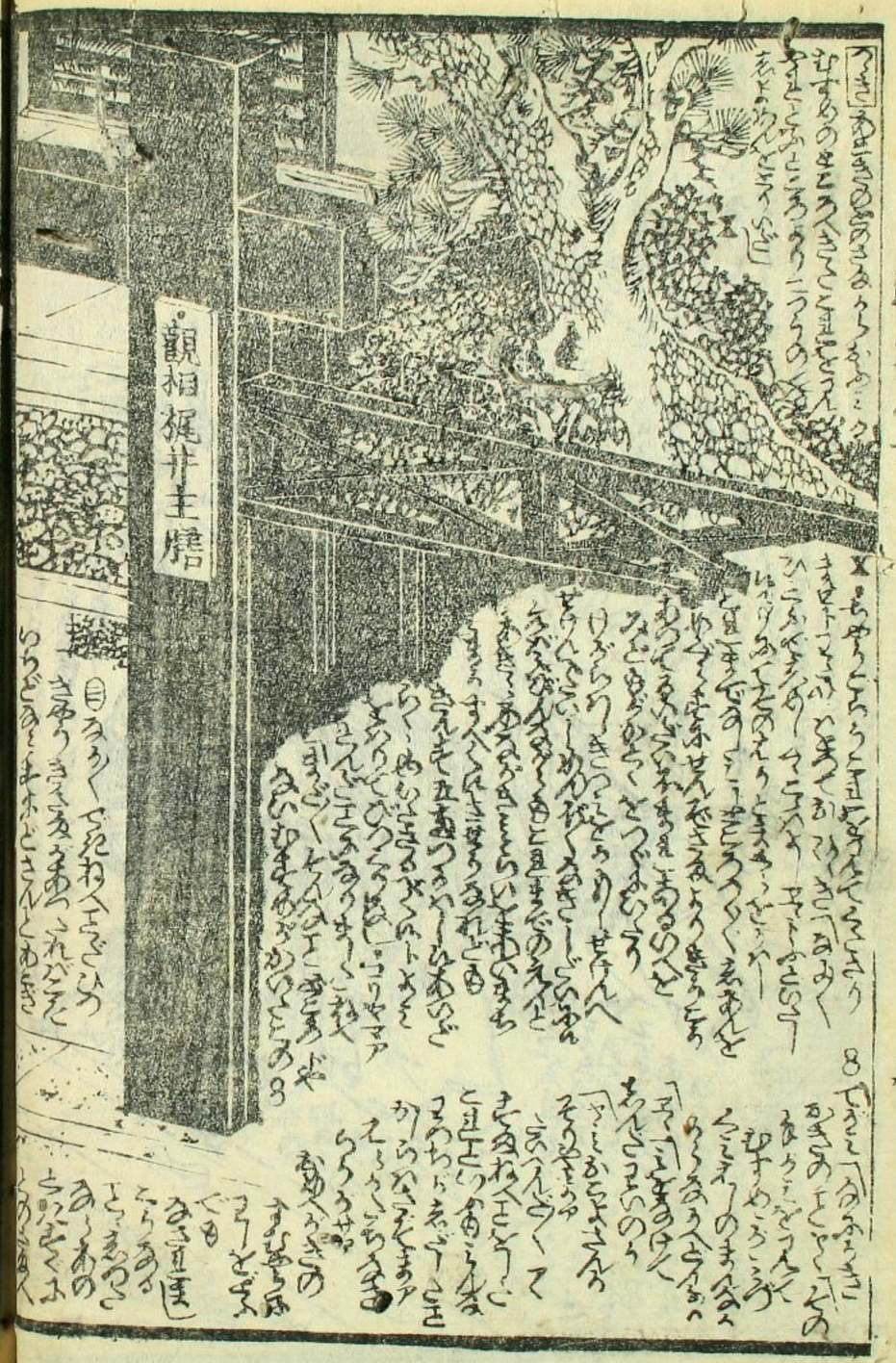
吾



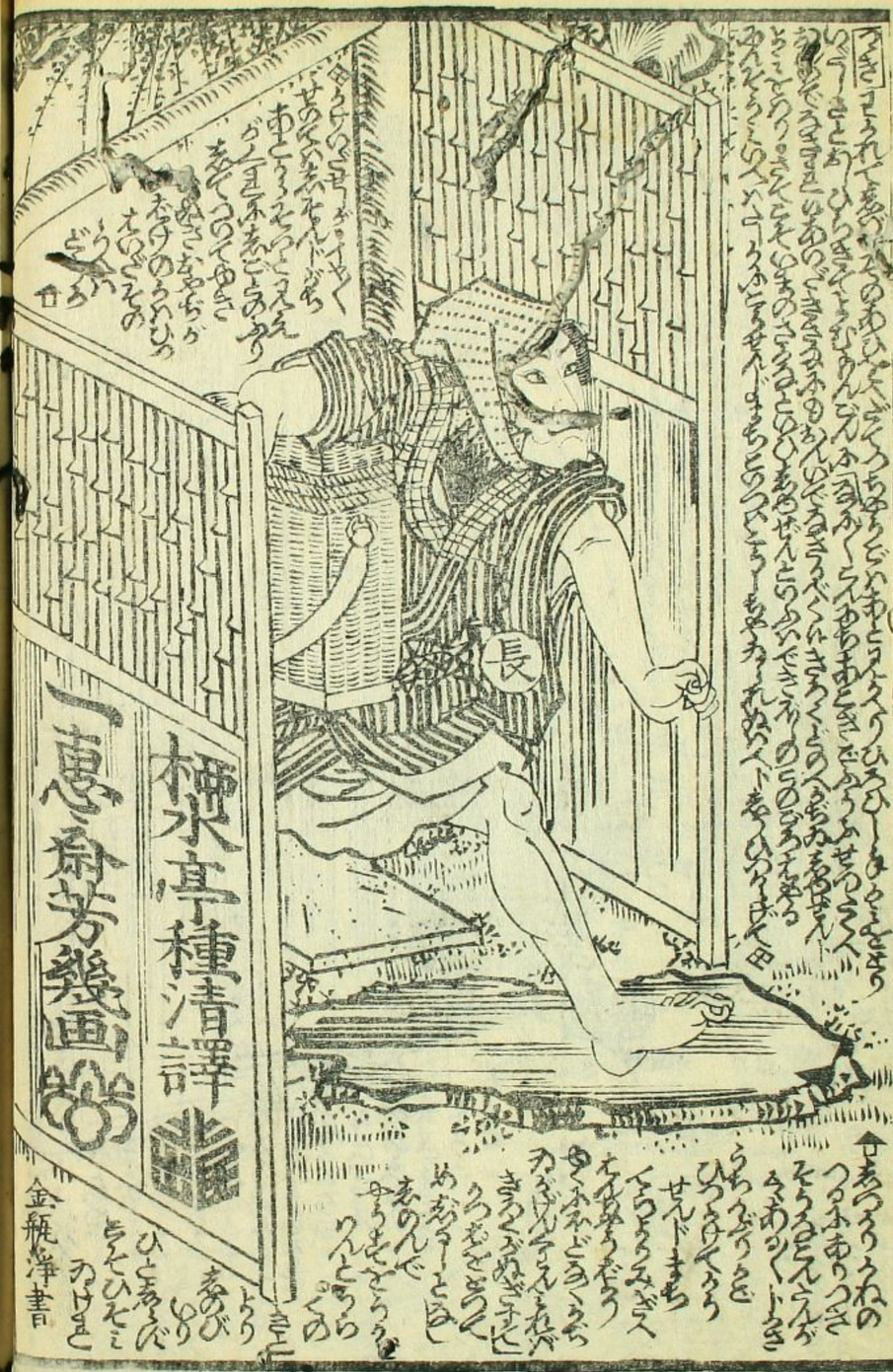
吾

長
照




觀相梶井主膳

長



須磨努勵琴

作者 柳水亭種清
画工 歌川國貞

松風村雨

[illegible]

真田結戀智恵環

作者 同
画工 一勇齋國芳

[illegible]

錦榮堂
吳服町新道
槌屋茂吉板

錦雅堂春梓

種清編
芳幾画
ふかはりかふ
[illegible]
二篇
下の波姿

續書

雀
龜

古

源

主
喜

源
古

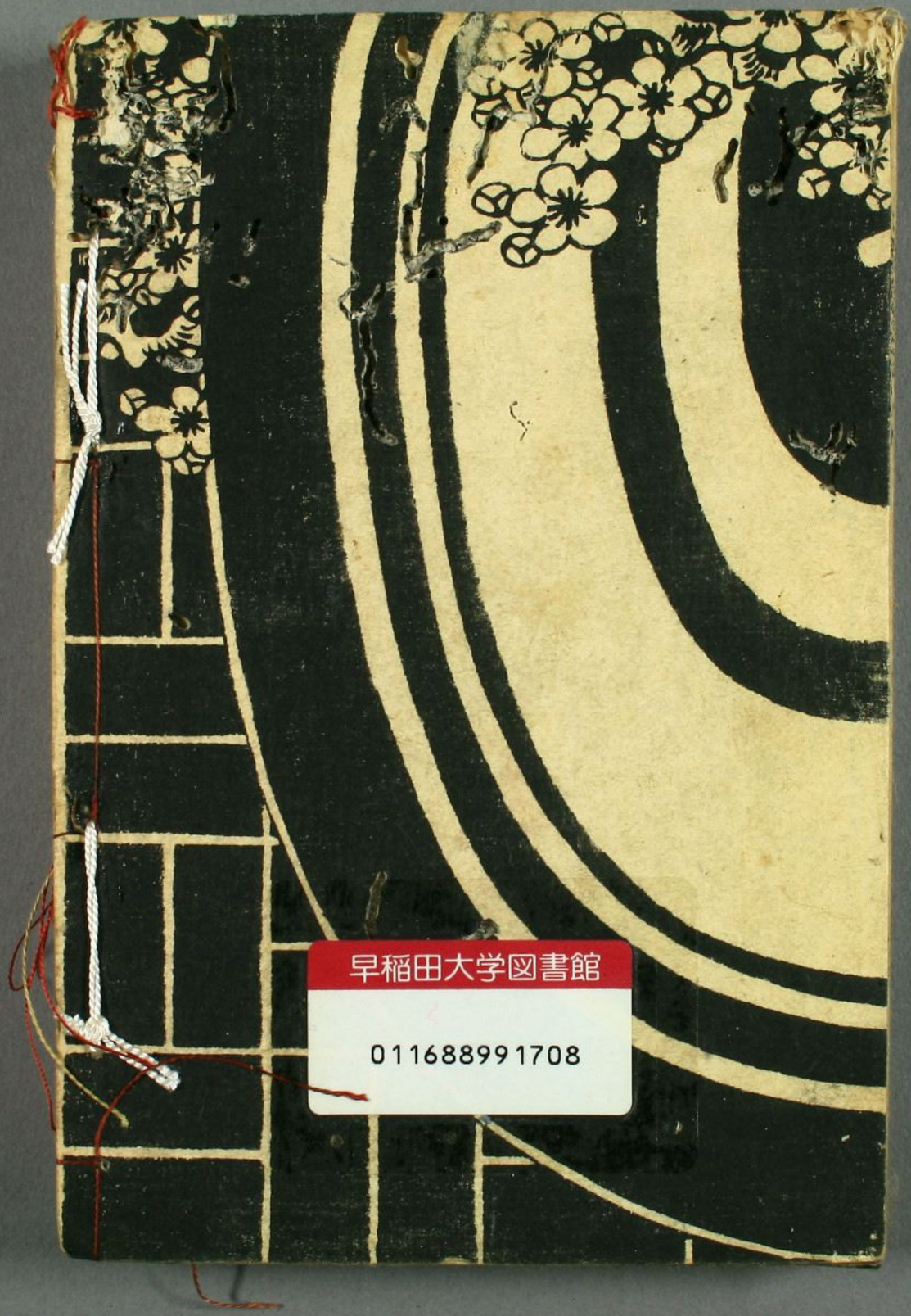
成田霊験瓢箪流言

作者 柳水亭種清
画工 一恵齋芳幾

花吹雪妹背振袖

作者 同
画工 一陽齋豊國

錦栄堂
呉服町 新道
梅屋茂吉板



早稲田大学図書館
011688991708